

11 November 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1	2 木曜 定休	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19 院長 不在	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

12月は トリミング 混雑してます。
診療 日曜祝日は午前診療
トリミング 日 月 火 金 土

12 December 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30 木曜 定休	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 院長 不在	18	19	20 午前 診療	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

先月、お休みをいただいて大阪に行ってきました。一番の目的は USJ ですが、道頓堀での食べ歩きも楽しかったです！有名な お好み焼きのお店もネットで調べて向かったのですが、17時の時すでに2時間待ちでびっくり...。新幹線の時間もあったので泣く泣く諦めました。片倉

サフランとチューリップの球根を植えました。寒くならないと芽が出なかったり、花が咲かなかったりするの、次の日から気温が上がってしまいました...。毎年12月になると、今年一年で一番おいしく食べ物は何だったかな？って思い返します。感動する程おいしい物、皆さんはありましたか？ 磯部

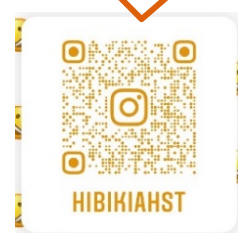


磯子区の
高齢ペット写真展

役所に飾ってもらった写真が返ってきたので、うちに帰るまで当院に飾らせてもらいました。

ご協力ありがとうございました。

Instagram



LINE



フードの日 (日曜日)
事前注文：月～水
購入：注文後の日曜日
10%割引で買えます
LINEで注文お気軽にどうぞ



ひびき動物病院 かわらばん 2023年11月 第83号



こんにちは。岡田響です。

ずっと暖かかったので、9月や10月はイベントなどにはいい時期でした。その中で、今年も磯子区獣医師会で毎年実施している小学校の授業がありました。移動動物園を毎年1校で実施していますが、子供たちや先生には大変貴重な機会だと喜ばれています。自分の小学生時代から、市内の小学校で遠足に野毛山動物園に行くのは定番？で、自分の時にはふれあい動物園で動物に触って帰ってきたような記憶があり、そういう事は貴重な機会なんだあ、と思っていたのですが、コロナになってからは、ふれあい動物園も閉鎖に近い状態が続いているようです。

今年は遠足に行ったけど、ふれあい動物園はなかったとのこと。えっ？そうなんだあ～、個人的にはそれはとても残念です。たびたび話題にする旭山動物園では、こども牧場っていうのがあったんですけど、とても大事な立ち位置にされているんですよ。こどもと動物の距離を近くに、という機会は、大事にしてほしい。と思っていたら、動物園のふれあいコーナーリニューアルのための、ふるさと納税クラウドファンディングが行われていました（現在は終了）。それは良かった。少しホッとしました。完成は令和6年の予定とありましたので、子供たちのふれあいの機会がまた増えるといいなと思っています。様々な知見を集めると、ヒトの脳には、自然との接点が必要そうです。子供だけではなく、大人も、都会にいる人はなおさら、時に動物や植物など、自然に触れる、ということが大事ですね。でも動物は、野生動物と家畜・伴侶動物はしっかり分ける必要があります。クマがあちこちで話題になっているのもありますから、野生動物とは距離も必要です。野生動物には食べ物を与えたりするようなことはしないようにしましょうね（こどもにも教えてあげましょう）。

*いつもと違うな？と感じたら、翌日までにご連絡ください。

ひびき動物病院 TEL045-832-0390

〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-2-17-102

午前9～12時 午後4～7時 受付30分前まで 予約制



ブログ

うちの子エピソード ～長寿犬 ココアちゃん編～

今年も動物愛護週間に磯子区役所でご長寿ペット写真展が行われました。当院の患者さんもお応募いただいております、皆さんからも「可愛いわね、うちの子もこのくらい長生きしてもらいたい」とか、「全然〇〇歳に見えない！」などの反響があります。ご長寿ペットさんはどのような生活をしてそんなに長生きができるのか知りたい！と思い、今年20歳となり、当院の犬の最高齢記録になった村瀬ココアちゃんの飼い主さんにアンケートにお答えいただきました。

Q：ココアちゃんはどんな子ですか？

A：若い時は吠えたり、飛びついたり、噛んだりもしました。家具をかじることやテーブルに乗って食べ物を取ったりしたことはない良い子です。下痢をしたことはありません。

Q：好きな食べ物は何か？

A：リンゴ、レタス、とりささみ、スイカ、キャベツ、豆腐、ゆで卵

Q：普段から気をつけていることはありますか？高齢になってから変えたことはありますか？

A：自由に好きなようにしていました。（トイレがわからなくなっているため）高齢になってからは見守りをしています。

Q：現在お困りのことはありますか？

A：ウンチをするタイミングが不明でカーペットの上などでしてしまうことと、目の下の傷が治らないこと、シャンプーができないので臭いが・・・。

Q：若い頃と現在の生活の違いについて教えてください。

	若い頃	現在
食事内容と回数は？	ドライフードと缶詰を1日2回	シニア用缶詰においもとりおろしにんじんを水煮にして1日2回
おやつはあげますか？	スティック状のおやつ、おいも、ブルーベリーのお菓など色々。	ボーロを豆乳に浸したり、ちゅーるを水で伸ばした物など。
散歩はしていますか？	ほとんどしません。お部屋を自由に歩き回っていました。	全くしていません。お部屋を自由に歩き回っています。
お留守番について	4時間以内位のお留守番を時々。	今は全くないです。必ず誰かが家にいるようにしています。

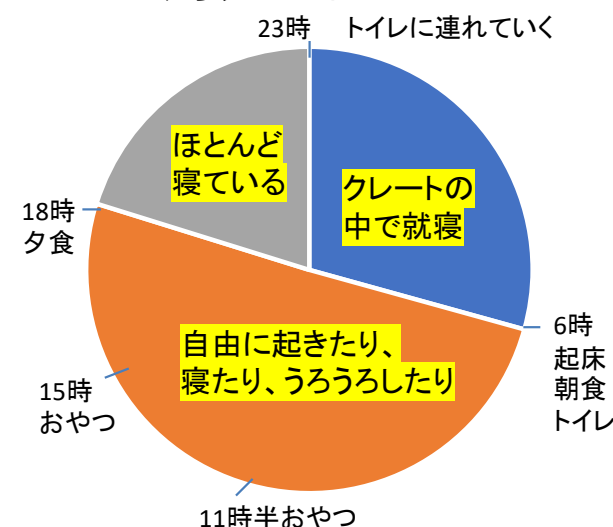
Q：ココアちゃんの長寿の秘訣は何だと思いますか？

A：自由気ままな生活とよく食べること。



ちょっと若い時のココアちゃん

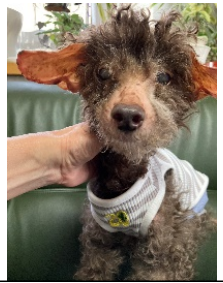
ココアちゃんの日



ココアちゃんはこのアンケートの後、20歳と38日で天国に旅立ちました。ペットも長寿になったとはいえ、犬で20歳を超えられる子はそうそういません。小さい頃から決して健康とは言えず、腎臓の手術もするなど大きな病気も乗り越えて、天寿を全うしたココアちゃんは、とても勇気付けられる存在でした。もう長くはないと覚悟をしつつ、一日一日を大切に、一緒に楽しみながら過ごされていたご家族が印象的でした。そして「20歳を超えるわんちゃんは少ないだろうから、きっと貴重な記録になると思うので。」と今回のアンケートに快くご協力くださったご家族とココアちゃんに心から感謝いたします。ココアちゃん、今まで本当にありがとう。

～ココアちゃんのプロフィール～

- ・2003年9月16日生まれ トイプードル 男の子
 - ・2003年11月ホームセンターで飼い主さんが一目惚れ。村瀬家の一員になる。この年でんかん発作2回あり。
 - ・2004年（0歳）病気のため他院にて1ヶ月半入院治療その後去勢手術。
 - ・2014年（11歳）検査で腎臓腫瘍が発覚。腎腺癌手術。右腎を3分の1切除。
 - ・2019年（13歳）歯槽膿漏のため全身麻酔で抜歯4本
 - ・2023年9月16日（20歳！！）
- 歩行可能！自力排尿排便！体重2.1kg。



20歳のお誕生日の時

横浜市動物愛護フェスタでいただいた質問



動物愛護フェスタに獣医師会の飼育相談窓口の係で参加しました。

窓口でたまたま同じような質問を頂き、同じように思う方がほかにもいるのではないかとおっしゃったので、ここでも少し紹介します。

質問に来られたかたのお一人からは「13歳の犬は高齢になってきたらどんなことを気にしてあげたらいいの？」と質問を頂きました。ほどなくして15歳の猫を飼育している方に、「高齢になってきたら猫はどんなことを気にしてあげたらいいの？」という、似たような質問をいただきました。

まず、質問の答えとしては、老齢期の生活にスイッチし始めてほしいということです。それぞれの犬と猫の様子は何も変わっていないので老齢は気にしてない、と言うので、どちらの方にも、まず、13歳の犬、15歳の猫は、一般的な平均寿命の年なんですよ。とお伝えしたところ、とても驚いていました。もうすぐ準備かなと思っていたのですが、はじめに、うちの子はもう高齢である、という認識をもってもらうことが必要そうでした。見た目に少し白髪がでたりしても、普段元気に見える子は、なかなか老いてきている実感はないですね。なので、細かい注意点はちょっと置いておいて、実際その子の状態はどうなっていて何に気を付けるのがいいんだろう？というのを具体的に知ってもらうためにも、まずは健康診断をおススメしました。

よくある事例としては、白内障になってしまい視力が落ちたり、耳が遠くなったり、まっとううちの人の帰宅に気が付かなくなったり、足腰が弱って動きがぎこちなくなったり、寝てばかりになっている、などのサインです。すでに若い時とは動きが違っているのに、おうちの人が若い時のままの対応を続けてしまうと、本人には負担になっている可能性があります。例えば犬の場合は散歩の速度が速すぎないか？白内障で見えにくくないか？本人は段差を避けていないか？などの観察から、動く時間の制限、ソファの乗り降りや階段の段差などを避ける、太らせない、暗い道は避ける、昼夜のリズムをつけるなど、体の変化に対応した生活の変化を考えます。

猫の場合は骨や関節・内臓の老齢性変化で便秘傾向になることがあるので、コロコロの便ばかりの場合は柔らかい便になるフードを探して種類を変える、踏んばりが弱くなるので太らせない、おトイレはいつもキレイにしてトイレを我慢させない、毛玉便予防にブラッシングなどのお話をしました。このようにちょっとした生活の工夫も未病の養生となり、何を優先すべきかは健康診断でアドバイスをもらいましょう。そして、これからまだまだ寒くなります。寒さは体力を奪いますので、おうちの中では、いつも低い場所で生活する犬や猫でも暖かく過ごせるように。また、お散歩や外出時には、服を着せたり、暖かい時間に行動するなど寒暖差の少ない工夫をしてあげましょう。

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方はこちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。（HPトップページの下部からも解除画面に行けます）ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。

